

# あまがさき環境オープンカレッジ活動報告

## はんつかあるもんで

2月24日(土) 10:00~12:00  
 阪急塚口駅南側 駅前広場  
 参加者 93名  
 スタッフ 9名  
 参加者に丁寧な対応ができました。



## おもちゃ病院 塚口診療所

3月2日(土) 13:00~15:00  
 塚口さんさんタウン  
 コミュニティホール  
 参加者 16家族 37名  
 スタッフ 10名  
 大切なおもちゃを直してくれる  
 ドクターに感謝です。



あまがさき環境オープンカレッジでは、もちこみ企画(連携活動)として、「環境」をテーマとした講座などを実施していただくことで、最大5万円までの補助金を受けることができます。

**経費補助対象** 講師謝金(外部講師への謝金に限る)、会場使用料、印刷費などが対象  
**応募方法** 経費補助を受ける際には、連携活動の内容について提案書を提出する必要あり  
**提出期間** 随時(ただし活動実施日の2ヶ月前まで) ※市報掲載を希望する場合は実施日の3ヶ月前まで  
**審査** 提出された提案書の内容に基づき書類審査を行い、補助金の交付を決定  
**広報について** 連携活動に採用された場合には、市報(紙面の関係上掲載ができない場合もあり)、あまがさき環境オープンカレッジが毎月発行している環境情報誌及びホームページなどにおいて広報します。  
 ※詳しくは、あまがさき環境オープンカレッジホームページへ!!  
<https://www.aoce.info/aoce/連携活動申請/>

## おめでとうございます



『認定こども園七松幼稚園』が  
 2023年度 こどもエコクラブ「全国エコ活コンクール」壁新聞部門  
**幼児部門 ミールケア・エコまる賞** を受賞されました。

2024年3月27日(水) こどもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」が、七松幼稚園に  
 出向いて、表彰式とともに、こどもたちと楽しい時間を過ごしていました。



## その扉を開けば、

「あの時、自然と出会ったんじゃないか」と思  
 い出せる風景はありますか? 最近、レイチェ  
 ル・カーソンさんの著書『センス・オブ・ワンダ  
 ー』をきっかけに、友人とそんなことを話して  
 いました。  
 私は幼稚園の頃に祖父母の家で見た大きな黒  
 い蜘蛛と、その巣と、天の川みたいな星と、田  
 んぼで対峙した蛇と...そんな風景を一つ一つと  
 つ思い出しつづきます。自然を前に「美しいな  
 」「不思議だな」と心が動いたり、「怖い」と畏れ  
 を抱いたり。無意識ながらも「忘れたくない」と  
 心のシャッターを押していた風景です。あの記  
 憶や体験があるから、街で暮らしていても自然  
 とつながり、戻ることができるのかなと考えて  
 いました。  
 じゃあ、尼崎市で生まれ育っている高校生の  
 娘には、そんな記憶や体験があるのでしょうか。  
 聞いてみると、最初に思い浮かぶのは、私の故郷  
 でもある高知に帰った時と大阪府の能勢町に暮  
 らす友人のところに遊びに行った時に見た風景  
 とのこと。娘もいつでも「つながる・戻る」こと  
 ができる扉を持っていました。



お手紙×季節のインテリア「おひがみかん」  
[https://www.kansai-woman.net/column\\_b20128.html](https://www.kansai-woman.net/column_b20128.html)

あま  
 尼崎が好きな人のための環境情報誌

# あまがさき エコ通信

Vol.173  
 2024年  
 4月号

『ハチドリ』は  
 エコ活動の  
 みちしるべ(和)

園児らの手に  
 エコバック(和)

買いものごっこ

エコ川柳

## 武庫川づくりと流域連携を進める会(武庫流会)

## エコあまスポット⑪

●「武庫川づくりと流域連携を進める会」は、兵庫県武庫川流域委員会が知事に答申した提言書と武庫川水系河川整備基本方針・河川整備計画にある住民参画型の流域総合治水による武庫川づくりを実現するために、2007年4月に同流域委員会の有志委員が流域住民とともに設立した情報と人材のシンクタンクであり、住民と行政を結ぶパートナー、中間支援組織団体です。  
 ●武庫川守として温暖化を背景にSDGsを意識し、武庫川流域圏において「シンボルフィッシュである天然アユがふたたび遡上し、人を含む多様な生きものが安寧に暮らせる健全な水循環の巡る流域圏づくり」を目指して、右記の6つの武庫川守活動によって住民主体の川づくりをリードしてきました

### 知る...武庫川ウォッチング



### 創る...流域圏の環境再生/保全活動



伝える...流域圏ニュースの編集発行/ホームページ/YouTube等からの情報発信/イベント出展等の広報活動



### 協働する...河川行政との懇談や川づくり協働イベント開催



見守る...平常時から緊急時に至る365日の河川・流域圏の実態調査、流域圏および河川環境のすこやかさ、水質の実態調査



### 継承する...講師派遣/人材育成講座開催



問合せ先: 事務局(吉田)  
 090-2289-2649

## すっかり定着!「はんつかあるもんで」

気がついたら、今年も早や3分の1が過ぎ、新年度の4月スタートです。私たちの「あるもんで交歓会」活動もたくさんの方のおかげで、順調な歩みが続いています。今年からは1月から毎月第2・4木曜日開催の「オープンカレッジ広場」を皮切りに、同27日には「あるもんで交歓会」=奇数月・最終土曜日に開催=を実施。いずれもひっきりなしの出店来訪がありました。とりわけ2月24日、阪急塚口駅南側の駅前広場で開いた「はんつかあるもんで」活動(偶数月・最終土曜日の昼前2時間)は、好天だったこともあり、親子連れなど約100人のお客が立ち寄ってくれました。



### お客様から「素晴らしい活動を応援します」の声



参加したエコあま協力隊員7人も盛り上がり、取組内容を書き込んだビラを皆さんに手渡しながらの会話が弾んだり...。「はんつか」は出店スペースが限られ、展示品は衣料品・おもちゃ類が中心で、お持ち帰りに絞っています。この日は、大きな動物の縫いぐるみ数体が、持ち込まれ、驚きの声があがるシーンもみられました。その中で、傍らの女性から「この活動はとってもいい取り組みです。ずっと続けてください。協力します」の声が聞こえてきた時には、なにやら気分がハイになってしまいました。(キヨ)

あまがさきエコ通信 (毎月1日発行)

編集発行 あまがさき環境オープンカレッジ実行委員会・尼崎市  
 問合せ NPO法人あまがさき環境オープンカレッジ  
 TEL/FAX 06-6421-0544 メール aoce@gb4.so-net.ne.jp  
 〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町2丁目1番 2-402号  
 (阪急塚口駅から徒歩5分)  
 開館時間 10:00~17:00【休館日 水曜・木曜・祝日・年末年始】  
 ※[あまがさきエコ通信]メール配信をご希望の方は、「あまがさきエコ通信メール配信希望」とお名前を明記のうえ上記アドレスにメールしてください。  
 あまがさきエコ通信発行にかかる費用の一部は、尼崎市の公費を活用しています

ホームページ

